

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同連絡先

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)
<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

上場証券取引所 東京証券取引所

公告の方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載する方法により行います。

● 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出下さい。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出下さい。

● 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出下さい。

IRカレンダー



 日鍛バルブ株式会社

〒257-0031 神奈川県秦野市曾屋518番地
TEL:0463-82-1311 FAX:0463-82-7413

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に配慮した「植物油インキ」を使用しています。

NITTAN VALVE REPORT

第97期 上半期報告書

2018年4月1日 ▶ 2018年9月30日

 日鍛バルブ株式会社

証券コード：6493

CHALLENGE × CREATION × SPEED

挑戦、創造、スピードをモットーに、
時代のニーズを先取りした高品質な製品をご提供します。



INDEX	01	トップインタビュー
	04	連結財務情報
	05	セグメントの概況
	07	特集
	09	会社・株式情報
	10	グローバル生産拠点

「CHALLENGE・CREATION・SPEED (挑戦・創造・スピード)」をスローガンに掲げ、持続的な企業価値向上を目指します。

代表取締役社長 **金原 利道**

Q 当第2四半期の概況についてお聞かせ下さい。

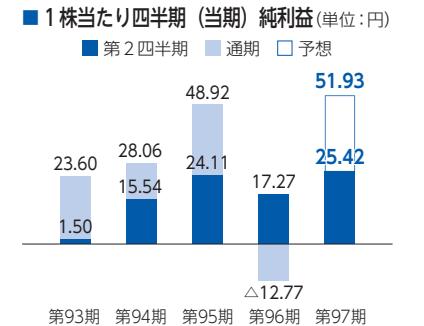
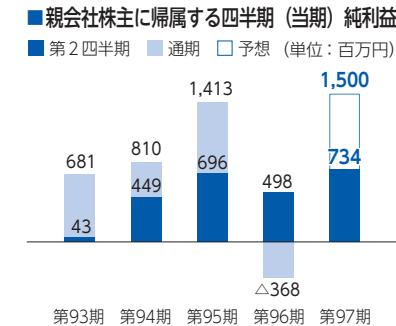
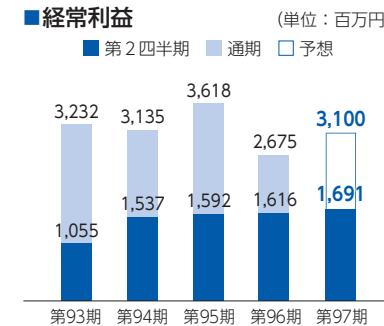
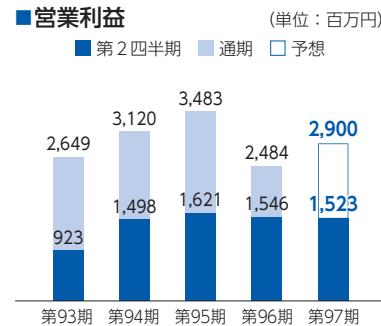
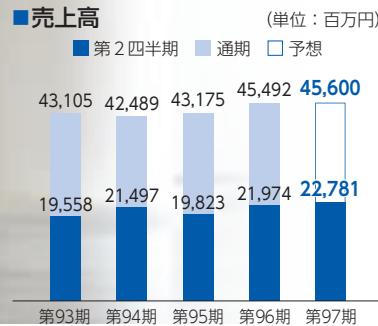
A 当第2四半期の業績は、売上高が前年同期比3.7%増の227億81百万円、営業利益が前年同期比1.4%減の15億23百万円、経常利益が前年同期比4.6%増の16億91百万円となりました。

北米地域における一部製品の生産拠点移管に伴う受注減少等の減収要因はあったものの、国内事業における中空エンジンバルブの量産拡大、PBWの量産開始、自動車用精密鍛造歯車の好調等により増収となりました。

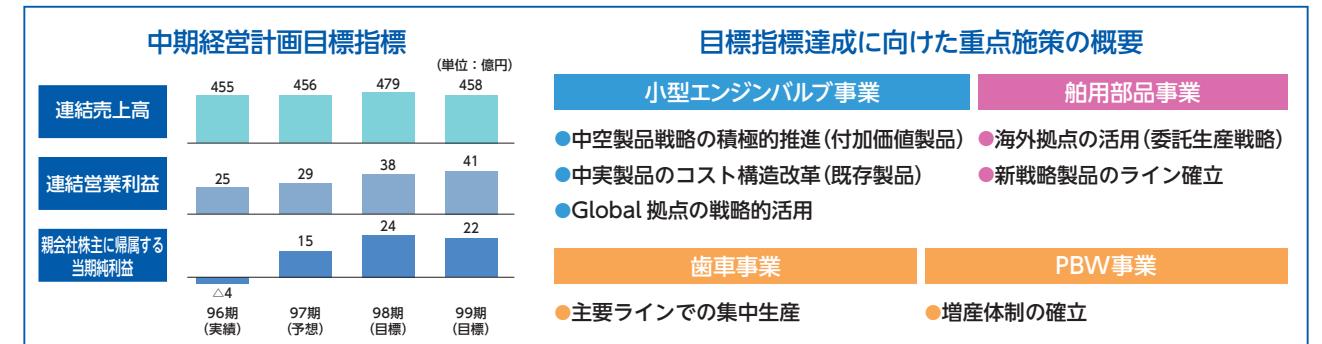
損益面では、国内事業は、中空エンジンバルブの量産拡大等により増益となりましたが、アジア地域におけるコスト増加や北米地域における一部製品の生産拠点移管に伴う受注減少等の影響により減益となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、海外合併企業が減益となる一方で当事業が増益となったことから前年同期比47.2%の増益となる7億34百万円となりました。

連結財務ハイライト



Q 今後の取り組みについてお聞かせ下さい。



A 当社は、第99期を最終年度とする中期経営計画を策定しており、第99期の売上高458億円、営業利益41億円、親会社株主に帰属する当期純利益22億円という数値目標を掲げております。

近年、電気自動車への移行(EVシフト)が話題になっておりますが、インフラ整備等の問題から依然としてエンジンバルブを必要とする内燃機関の増加は続くと考えられます(P3図参照)。その一方で、環境配慮の高まりから内燃機関の更なる燃焼効率向上が求められております。そのため、今後も内燃機関の燃焼効率向上に資する中空エンジンバルブの市場規模拡大が見込まれます。

このような状況を踏まえ、当社では、中期経営計画目標指標達成に向けた施策の一つとして、中空バルブ戦略の推進を掲げております。

傘中空エンジンバルブについては、現在同製品の生産を行っている山陽工場に加え、中国山東省日照市に新たな生産拠点となる日照日鍛汽門有限公司を設立することで増産体制を確立致します。山陽工場においては既に年間生産2,000万本体制の整備が完了しており、日照日鍛汽門有限公司は2018年9月に設立完了し、2019年6月の生産開始に向け、着々と準備を進めております。また、本社工場において量産が開始された軸中空エンジンバルブについて

では、今後も更なる受注拡大に向け取り組んでおります。
 その他の戦略とその施策についても取り組みを進めております。中実エンジンバルブについては、ものづくりの基本と原点に立ち返った再編活動によりコスト構造改革を進め、利益向上を目指しております。また、オートマチックトランスミッション用パーキングブレーキ部品であるPBWについては、増産対応に伴う設備投資が完了し、現在は生産性向上に取り組んでおります。

以上のような取り組みを確実にやっていくことで、中期経営計画目標指標の達成を目指してまいります。

そして、長期的には、内燃機関領域においては、引き続き、燃焼効率向上というニーズに応えるべく、新たな中空バルブや他の高付加価値製品の開発を進めてまいります。また、電気自動車を含む電動化技術領域においては、当社既存技術を活用しつつ、これまでの当社にない新たな技術の獲得を視野に対応してまいります。

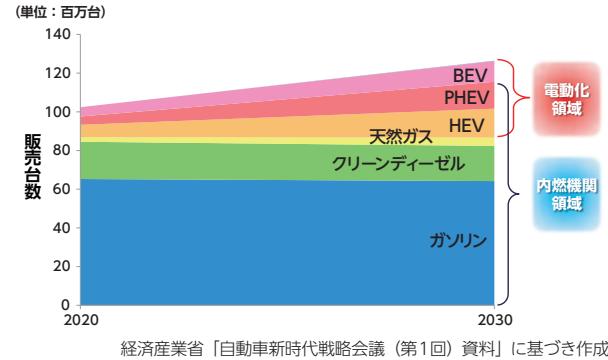
Q 株主の皆様へメッセージをお願いします。

A 当社は、2018年11月に創立70周年を迎えました。1948年に旧日本鍛工株式会社より分離し設立された当社は、戦前より培った技術を基にエンジンバルブメーカーとして成長し、今日まで、エンジンバルブ事業を中心として各事業や海外拠点の展開を続けてまいりました。

当社が関連する自動車業界は大きな変革期を迎えておりますが、これまで培ってきた技術を活かしながら、新たな流れにも対応すべく挑戦を続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

パワートレイン別長期見通し



当社創立70周年式典

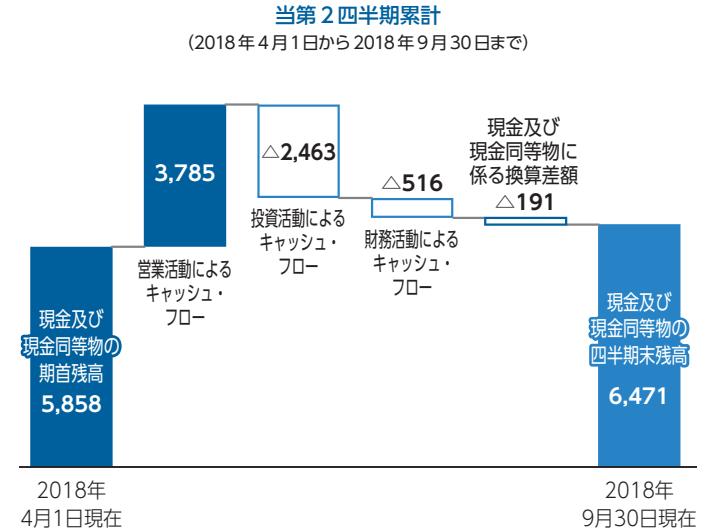
連結貸借対照表

(単位: 百万円)

前期 (2018年3月31日)	当第2四半期 (2018年9月30日)	前期 (2018年3月31日)	当第2四半期 (2018年9月30日)
流動資産 21,541	流動資産 22,577	流動負債 11,058	流動負債 12,555
固定資産 35,036	固定資産 34,800	固定負債 14,312	固定負債 13,924
資産合計 56,578	資産合計 57,377	負債・純資産合計 56,578	負債・純資産合計 57,377
純資産 31,207	純資産 30,897		

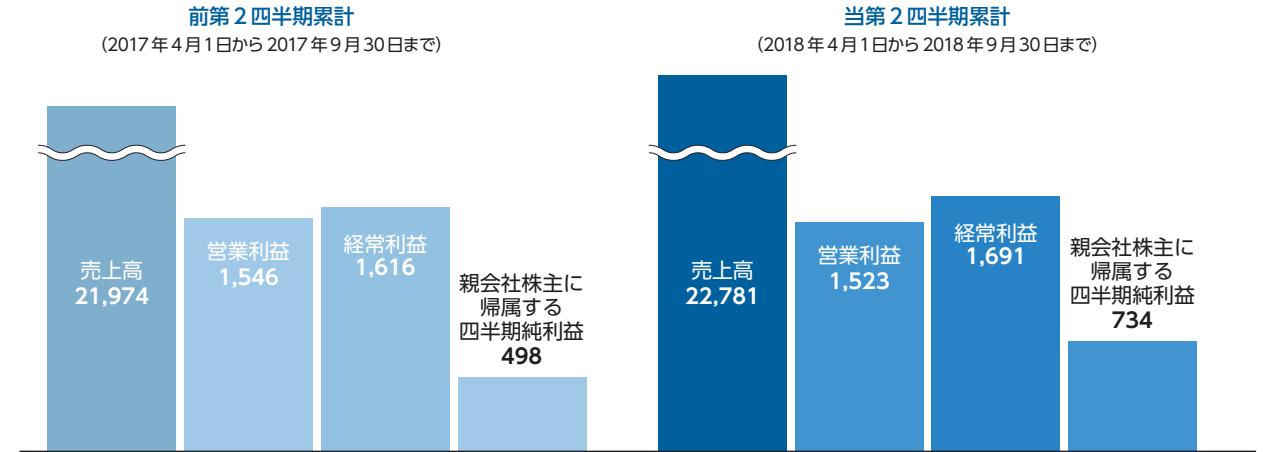
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)



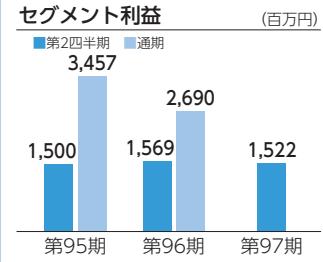
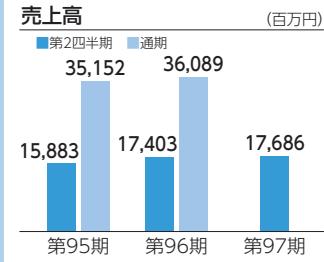
連結損益計算書

(単位: 百万円)



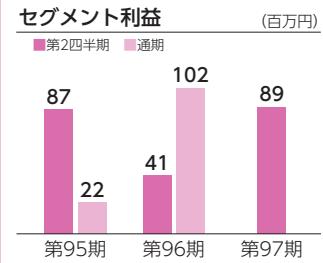
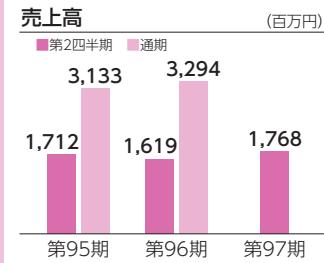
事業別(連結)セグメントの概況

小型エンジンバルブ事業



北米地域の一部製品生産拠点移管に伴う受注減少等の減収要因はあったものの、国内事業における中空エンジンバルブの量産拡大や北米・中国向け製品の好調等により増収。
国内事業における中空エンジンバルブの量産拡大やコスト削減等の増収要因はあったものの、アジア地域におけるコスト増加や北米における受注減少等の影響により減益。

船用部品事業

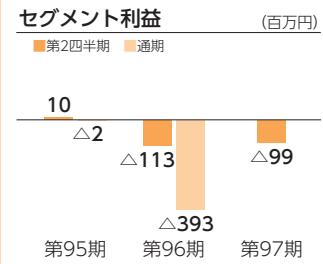
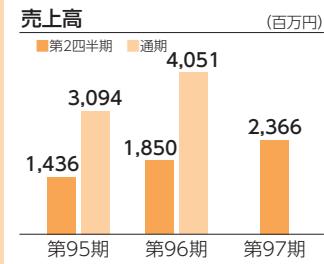


海外向け製品の販売好調や拡販の成果等により増収。
生産性改善等に伴うコスト削減や拡販効果により増益。

可変動弁・歯車・PBW事業

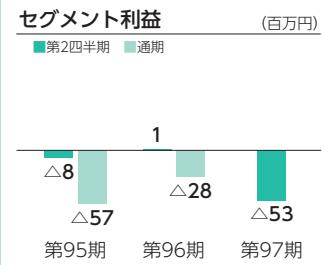
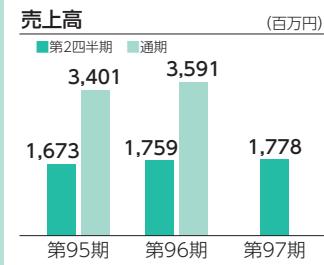


精密鍛造歯車 (ベベルギア、ピニオンギア、ドライブギア)



可変動弁
量産終了に伴い減収。
精密鍛造歯車
海外向け製品の好調等により自動車用製品が大幅な増収。
PBW
本格的な量産開始により大幅な増収。
PBWの量産立ち上がりの効果等により、セグメント損失(営業損失)が縮小。

その他事業



バルブリフター
中国・欧州向け製品の好調等により増収。
工作機械
グループ内部取引が増加し増収。
ロイヤルティー
グループ内部取引が減少し減収。
農作物
事業規模はまだ小さいものの販路拡大により増収。

地域別セグメントの概況

日本



アジア



北米



欧州



ポイント

日本では、中空エンジンバルブの量産拡大、PBWの量産開始、自動車用精密鍛造歯車の好調等により増収増益となりました。
アジアでは、インドネシア・インド・中国における生産拡大等により増収となりましたが、コスト増加等の影響により減益となりました。
北米では、一部製品の生産拠点移管に伴う受注減少等の影響により減収減益となりました。

(注) 1. 各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります。
2. 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

台湾日鍛工業股份有限公司

商号 台湾日鍛工業股份有限公司
 所在地 台湾桃園市
 代表者 小関誠也(董事長)
 出資比率 当社:51%
 イートン社49%
 設立 1968年

台湾日鍛工業股份有限公司は、日鍛グループ初の海外拠点として1968年に設立されました。4輪車・2輪車用エンジンバルブの製造販売を主な事業として発展を続け、現在は、エンジンバルブだけでなくグループ企業向けのエンジンバルブ製造用金型や製造設備の製造販売も行っております。

また、中国広東省に所在する広州日鍛汽門有限公司は、台湾日鍛工業股份有限公司の100%出資の子会社であり、同社とは強い結びつきがあります。



設立当時社屋



改修工事前事務厚生棟



改修工事後事務厚生棟

今年台湾日鍛工業股份有限公司の創立50周年記念事業として、老朽化した事務厚生棟の改修工事と創立50周年記念誌の編纂を行いました。これらの取組みを通じて、会社の歴史をふり振り返り、社員一同力をあわせて、これからも新しい歴史を刻んでいくという思いをあらたにしております。

海外子会社
インタビュー

管理部部長
高 貴敏 氏

■ 会社の雰囲気をお聞かせ下さい。

台湾人の強み・特性ともいえるフレキシビリティ(臨機応変さ)や、フランクさ(気さくな性格)は、台湾日鍛工業股份有限公司にも息づいています。

また、社員の数が80名強という会社の規模と、勤続年数長い社員が多いこともあり、「社員の家族の顔が見える」会社です。社員が年間イベントの中で一番楽しみにしている社員旅行へは家族も参加するなど家族ぐるみでの交流も多いことから、社員の間で、お互いの配偶者のみならず、親、兄弟姉妹や子供の顔がわかるといった状況です。

40歳代半ばの私にとっては、一頃の日本の会社でよく見られた、懐かしい魅力が台湾日鍛工業股份有限公司にも残っているように感じられます。

■ 業務を行う中でどのようなときにやりがいを感じますか？

父親が金型の設計者をしていたからなのか、ものづくりをする人の真剣な眼が好きです。製造業の主役はやはり製造部門。管理部はバックヤードとして、各部門と密に関係を取りながら声がけをして、会社全体を盛り立てる役割を担っています。

日常の慌ただしさの中でこれまで手がつけられていなかったことを、仲間と知恵を出しあって改善できたときにやりがいを感じています。

そこで大切にしていることが三つあります。「心がしなやかであること(自分に固執せず、他者の声に耳を傾ける心の余裕を持つ)」、「思いがブレないこと(軌道修正はあっても本来あるべき道を追求するという軸は動かさない)」、「気持ちやタフであること(やり抜くというコミットメント)」。

当地の言葉が話せるかどうかよりも、これらが重要であると感じています。



プロフィール

大学で中国語を専攻後、化学品メーカーでの営業、日本と台湾での人事コンサルティング等を経て、2011年に台湾日鍛工業股份有限公司へ入社。現在は、同社管理部にて、人事、総務、経理財務、購買、環境安全の他、社内の通訳・翻訳業務を統括。

会社概要

商号 日鍛バルブ株式会社
 本社所在地 神奈川県秦野市曽屋518番地
 設立 1948年(昭和23年)11月10日
 資本金 4,530,543千円
 従業員人数 連結 2,599名(2018年3月31日現在)
 単体 700名(2018年9月30日現在)

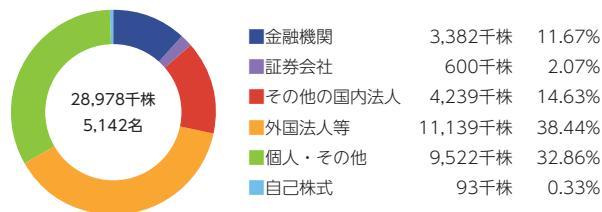
役員一覧(2018年9月30日現在)

代表取締役社長	金原利道
常務取締役執行役員	李太煥
取締役執行役員	中元一雄
取締役執行役員	井上文雄
取締役執行役員	六浦満夫
取締役	桧村雅人
取締役執行役員	大野浩
取締役執行役員	安藤輝明
取締役	鈴木隆司
取締役(社外)	石垣和男
取締役(社外)	木全紀之
監査役(常勤)	菊地浩二
監査役	渡辺博昭
監査役(社外)	下山秀弥
監査役(社外)	山田章雄
執行役員	栗原伸元
執行役員	高橋幸一

株式の状況(2018年9月30日現在)

発行可能株式総数 89,000,000株
 発行済株式総数 28,978,860株
 株主数 5,142名

株式分布状況(2018年9月30日現在)



大株主 上位10名(2018年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
イートンコーポレーション	8,693	30.10
株式会社横浜銀行	1,302	4.51
本田技研工業株式会社	1,233	4.27
トヨタ自動車株式会社	1,057	3.66
株式会社シンニッタン	517	1.79
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) アカウントノントリイティー	516	1.79
株式会社みずほ銀行	472	1.64
個人株主	454	1.57
日本証券金融株式会社	454	1.57
明治安田生命保険相互会社	448	1.55



- ① 本社工場・堀山下工場(神奈川県)
 - ② 山陽工場(山口県)
 - ③ ニッタン・ユーロ・テック sp.z o.o.(ポーランド)*
 - ④ 北京柳成新和汽車部件有限公司(中国)
 - ⑤ 日照柳成新和汽車部件有限公司(中国)
 - ⑥ 広州日鍛汽門有限公司(中国)*
 - ⑦ 新和精密株式会社(韓国)
 - ⑧ ケイエヌテック株式会社(韓国)
 - ⑨ 台湾日鍛工業股份有限公司(台湾)*
 - ⑩ ニッタンベトナム Co., Ltd.(ベトナム)*
 - ⑪ ニッタンタイランド Co., Ltd.(タイ)*
 - ⑫ ニッタンインディアテック Pvt. Ltd.(インド)*
 - ⑬ PT.フェデラルニッタンインダストリーズ(インドネシア)*
 - ⑭ U.S.エンジンバルブ(パートナーシップ)(アメリカ)*
- * 連結対象会社

